

特別会計・事業会計予算

老人保健

7億8,200万円

(歳入)	
支払基金交付金	5億1,033万8千円
国庫支出金	1億7,865万6千円
その他	9,300万6千円
(歳出)	
医療諸費	7億7,835万5千円
その他	364万5千円

70歳以上のお年寄りの医療費をまかなう会計です。

国民健康保険

8億500万円

(歳入)	
国民健康保険税	3億1,038万3千円
国庫支出金	2億7,677万円
その他	2億1,784万7千円
(歳出)	
保険給付費	5億870万円
老人保健拠出金	1億9,033万2千円
その他	1億596万8千円

農業や自営業、退職者などの医療費を負担する会計です。

介護保険

4億7,870万円

(歳入)	
支払基金交付金	1億3,957万円
国庫支出金	1億1,818万円
その他	2億2,095万円
(歳出)	
保険給付費	4億3,615万4千円
その他	4,254万6千円

介護を必要とする人のための会計で、寝たきりなどで介護や支援が必要になったとき、介護保険サービスを受けられます。

下水道事業

13億1,873万1千円

(歳入)	
町債	6億930万円
国庫支出金	4億9,530万1千円
その他	2億1,413万円
(歳出)	
下水道費	12億3,404万3千円
その他	8,468万8千円

終末処理場築造工事や枝線管渠の

築造工事等を進めていきます。

水道事業

収益的収入 2億6,281万9千円
収益的支出 2億6,046万3千円

(収益的収入)	
営業収益	2億5,834万5千円
営業外収益	447万4千円
(収益的支出)	
営業費用	2億3,096万円
営業外費用	2,850万3千円
予備費	100万円
(資本的収入)	
出資金	2,000万円
国庫補助金	840万円
負担金	561万6千円
(資本的支出)	
建設改良費	1億578万円
企業債償還金	2,468万6千円
国庫補助金返還金	37万8千円

業務の予定量 ▶ 給水栓数3,955栓
▶ 年間総給水量204万6千m³ ▶ 1日平均給水量5,590m³
配水管布設替え工事や石綿セメント管更新事業等を進めていきます。

未来を創造する明和文化的まちづくりを

平成15年度予算編成方針

国では、景気の先行きに強い不安感や不透明感が漂う中、構造改革の断行と景気浮揚策の両立という極めて厳しい予算編成を行い、デフレに対応しながら特に民間需要や雇用拡大に力点を置き、構造改革特区を推進するなど新しい未来を切り開いていこうとしています。国の予算配分にあたっては弾力化措置を導入し、IT・都市・少子化対策・環境対策の4分野を重点的に配分するとしています。

本町では、町民の皆様のご指導ご協力を賜り、常に健全財政を堅持し、21世紀にふさわしい基盤づくりを構築するため第4次総合計画の計画的な推進を図り、未来を創造する明和文化的まちづくりを目指して町政を執行してまいりたいと考えております。町の予算編成にあたっては、国・県の方針および地方財政計画を指針として、町民生活の資質向上のため計画的、合理的で効率的な行政運営を推進できるよう行政改革の趣旨を踏まえて編成しました。

主な施策としては、役場庁舎建設に向けての敷地造成事業をはじめ、環境に与える負荷の削減を目指すISO14001認証取得事業の推進、行政・事業者・町民が

一体となって取り組む環境基本計画の策定事業、総合行政ネットワークLIGWANの接続整備事業、障害者が自由に選択サービスが受けられる施設訓練支援事業、農家台帳電算化等に向けた農地情報管理システム事業、出荷野菜の残留農薬検査事業などを推進してまいります。また、都市基盤の整備や生活環境の整備、健康の増進、福祉の向上、教育文化の向上、産業の振興、行政基盤の強化などを積極的に取り組み、一般会計を47億500万円と定めました。今年度は、町税や地方交付税等において増額が見込めることなどの理由により、前年度比で27・3%増の予算となりました。一方、特別会計では老人保健を7億8200万円、国民健康保険を8億5000万円、介護保険を4億7870万円、下水道事業を13億1873万1千円、事業会計の水道事業を3億9130万7千円とそれぞれ定めました。

本年度も行政水準の向上を目指し、総力を挙げて執行に当たる所存ですので、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

明和町長 斎藤 憲